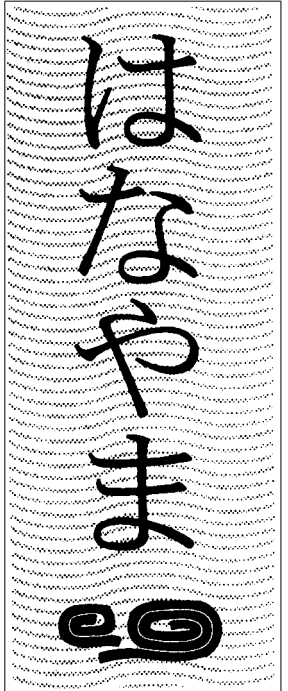




平成21年度定期総会会場



発行
社団法人
宮城県芸術協会
(郵便番号 980-0803)
仙台市青葉区国分町 3-3-7
宮城県民会館内
電話 (022) 261-7055
FAX (022) 214-5184
E-mail: miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp
編集 小山喜三郎

平成二十一年度の宮城県芸術協会定期総会が五月二十四日午後二時三十分から仙台市福祉プラザふれあいホールで開催された。二十年度の事業報告・収支決算、二十一年度の事業計画案・収支予算案を提案、全会一致で承認された。議事に先立って四十五周年記念行事や事務局局長交替についての報告があった。総会前に仙台文学館館長の小池光氏の講演があった。
(2面に関連記事、3〜5面に二十年度の事業概要・収支決算、二十一年度の事業計画・予算案を掲載)

創立45周年迎え記念事業

平成21年度定期総会 満場一致で議案承認

総会に先立ち会員総数二千三百九十四人のうち百五十一人が出席、委任状提出が千二百五十六人で総会が成立する旨を事務局から報告された。司会の佐藤淳一理事が開会を宣言。小山喜三郎理事長が「秋の芸術祭会期中に四十五周年記念行事としてせ

んだいメディアテークで（ふれあい広場Ⅲ）を開催し、各部門の交流と県民がアートのふれあう機会を大切にした」とあいさつされた。
総会議長に中塚仁理事を選出。議事録署名人に桜井忠彦評議員（絵画）、近藤孝則運営委員（工芸）を選任し、議

から監査結果が報告された。引き続き平成二十一年度の事業計画案と収支予算案を担当理事から提案説明があり、満場一致で承認、可決された。
報告として十四回を数える日韓国際交流の仙台・大邱交流音楽会が六月二十一日仙台市青年文化センターで開催さ

れるので会員の協力を仰ぎたい。東北・北海道交流書道展は六月三日から七日まで東京エレクトロンホール宮城展示室で開催される。昨年第四十五回宮城県芸術祭書道部門の受賞者十七名の作品、是非会場に足を運んで欲しい。次に芸協創立四十五周年記念行事として、九月二十七日せんだいメディアテーク一階で「芸術ふれあい広場Ⅲ」が開催される。芸協の部門間の交流（コラボレーション）で以前にも大きな反響のあった企画だったが、一層充実させたい。長年事務局局長の任にあつた小野寺有二氏が定年退職したので伊藤勝友氏を新事務局長として迎えた旨、それぞれ説明があった。

「はなやま」編集に感謝状と記念品

総会の席上、長年にわたり機関紙「はなやま」の編集に携わったとして今人悼参事に小山理事長から感謝状と記念品が贈られた。「はなやま」の編集を会員が行うようになったのは平成五年からで、

今日まで十六年に及ぶ。芸協四十五周年記念の一環としての謝意となった。
当初は渡辺礼子、小林松風、今入惇の三氏でスタート、これまで渡辺乃梨子、熊谷淑子の二氏が交代し、現在は坂内佳禰、佐藤淑子、今入の三氏が担当している。当然だが事務局員との共同作業である。

事に入った。平成二十年度の事業報告と収支決算を担当常任理事が報告、池田僊雲監事

東北はわずか百三十年程前まで異文化の危険な地であるとの偏見と差別のかたまりであった。日本の文明は西より東への流れであるから、東北人は常に追われ、破れ同化の努力を強いられてきた。この「負けた者」の東北人気質が詩歌の原動力を培い、茂吉や啄木が短歌の骨格を作ったと言えるであろう。

「一握の砂」より啄木について
明治十九年生まれ、啄木は、母親に溺愛され、早熟でイケメンの神童であった。しかし十七歳でエリートコース

を脱落した啄木は、貧困、苦痛、家庭不和をごく日常的なことと自覚し、今の時代にも新しい短歌を作るようになった。「はたらけどはたらけど」の歌は日本一有名である。「ちつと手を見る」はキャツ

「東北の人 啄木と茂吉」

定期 小池光氏が記念講演



講演する小池光氏

チコピーの趣で、それまでの短歌とは全くちがう歌い方がある。「花を買ひ来て妻としたりしむ」の歌についても「うのようなことがあれば良いなあ」と付け加えて読むと悲しみ、真実味が深まる。どこに

も居場所がないという感情は一生心にかかえていた。歌の新しさ上手を今に感じられる。「つきかげ」より斎藤茂吉について
明治十五年生まれの茂吉

は、啄木と対照的でおくたてあり親の愛情もあつくはなかつた。金の苦労もなく恵まれた環境での一生であった。「人間は予感なしに病むことあり癒れば楽しはらねばこまる」あたりまえのことを真正面から真面目に歌っている人間のおもしろさ。「こころ楽しも死にいたるまで」や「やむに止まれぬ野犬子を産む」強引な主観が何とも言えぬおかしみがあり、言葉のパワーがものすごい。

屈折し錯綜した短歌文学に東北気質を見る事が出来る。(佐藤淑子記)

45周年記念 芸協創立

9月27日に開催

「ふれあい広場Ⅲ」

平成二十一年は芸協創立四十五年となる。記念行事として九月二十七日(日)にせ

体案が決まる予定。開催時間は五時間程度を見込んでいます。

んだいメディアアテーク一階を会場に「ふれあい広場Ⅲ」を企画、これまで各部から企画案が示され、七月末までに具

各部から提案された企画案は次の通りである。洋楽部門は総時間を二時間弱に予定。その中で舞踊部と

の競演をはじめピアノやマリオンバ、エレクトーンの演奏も予定している。華道、邦楽とのコラボレーションは、「秋の山を活ける」をテーマに企画中。

長唄は三味線、唄、おはやししの総勢二十八人で「神田祭」を演奏。邦楽は尺八で三重奏曲の「星月夜」の演奏を予定している。

舞踊部は四団体による洋楽とのコラボを提案。茶道部はふれあい広場の会場で織田流の呈茶を企画。書道部は芸術祭受賞による揮毫会を中心に文芸部員の作品の揮毫を検討。その文芸部は文芸祭受賞作の発表や華道部の作品を短歌や俳句の即興詠をもくろんでいる。

これら各部の提案を音楽部の参事大泉勉氏をフロアコーディネーターに細部をつめて成案することになる。

新 入 会 員

【絵画部】
(日本画)
(洋画)

木橋谷川垣本 原藤下深
志む哉和裕優朋明正佳寿
津つ子 絵子 子子 男和子人
子子 子子 子子 子子 子子

(写真)

980-0871 仙台市青葉区八幡一丁目7-10-102
983-0832 仙台市宮城野区安養寺一丁目23-2
985-0031 塩釜市石堂9-1
986-0801 石巻市水明北二丁目5-13
989-2451 岩沼市土ヶ崎三丁目3-14
981-0212 宮城郡松島町磯崎字長田18-1
981-3327 黒川郡富谷町穀田字岩下53
981-3341 黒川郡富谷町成田三丁目23-6
981-0952 仙台市青葉区中山九丁目21-23
981-0135 宮城郡利府町菅谷台一丁目29-6
981-1101 仙台市太白区四郎丸大宮61

265-1326
275-0177
364-0922
0225-93-1348
0223-24-0423
354-6601
358-2924
351-5807
278-7701
767-2737
241-1284

平成 20 年度 事業 概要 書

1. 定款第 4 条第 1 号の事業（宮城県芸術祭の開催）

事業名	期 日	会 場	出品点数	入場者数	摘 要
絵 画 展	9月26日～10月8日	せんだいメディアテーク 5・6 F	日本画 59 洋画 245	6,138	
写 真 展	9月26日～10月1日	せんだいメディアテーク 5 F	132	2,779	
文 学 散 歩	9月30日	“盛岡・北上地方の文学の旅”		参加 33	
彫 塑 展 ～彫塑部会員とその仲間展 2008	10月3日～10月8日	せんだいメディアテーク 5 F	19 6	2,414	
華 道 展	10月3日～10月8日	せんだいメディアテーク 5 F	前期 32 後期 32	3,525	
書 道 展	10月10日～10月15日	せんだいメディアテーク 5・6 F	369	2,943	
工 芸 展	10月10日～10月15日	せんだいメディアテーク 5 F	71	2,375	
茶 会	10月12日・19日・26日	輪王寺		986	
長 唄 演 奏 会	10月19日	仙台市戦災復興記念館		234	
音 楽 会	10月19日	仙台市青年文化センター		375	“20世紀の風Ⅱ”
文 芸 祭	10月25日	東京エレクトロンホール宮城会議室		72	
「宮城県芸文鑑」発行	10月15日				
写 真 展 美 里 展	10月17日～10月23日	美里町近代文学館ギャラリー	64	300	
絵画・書道展東松島展	10月31日～11月3日	東松島コミュニティセンター	日本画14 洋画37 書43	498	
絵画・書道展大崎展	11月6日～11月9日	大崎市松山体育館	日本画16 洋画41 書42	896	
絵画・書道展大和展	11月12日～11月16日	大和町まほろばホール	日本画13 洋画40 書51	518	

2. 定款第 4 条第 2 号の事業（芸術文化に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援）

第13回杜の都大茶会	5月24日・25日	勾当台公園		7,935	
県民との美術交流	人物クロッカー10月4日	東京エレクトロンホール宮城会議室		参加 60	
	ギャラリー・トーク10月4日	せんだいメディアテーク 5・6 F		参加 8	
	「絵画楽園」～子どものための「大人の絵画」鑑賞 10月4日	せんだいメディアテーク 5・6 F		参加 18	
みやぎミュージック フェスタ in 白石	11月30日	白石市ホワイトキューブ		244	“秋おくる響け白石キラリ”
第29回音楽コンクール (ピアノ部門)	予選 2月22日	仙台市戦災復興記念館		参加 101	
	本選 3月29日	仙台市戦災復興記念館		参加 35	

3. 定款第 4 条第 3 号の事業（国内及び国外との芸術文化の交流）

東北・北海道交流絵画・写真展	6月4日～6月8日	東京エレクトロンホール宮城展示室	当県からの出品 絵画19 写真14	583	
日・韓国国際交流 「仙台・大邱交流音楽会」	6月24日	韓国・大邱壽城アトピア龍池ホール		大邱 800 当県 13	
宮城県・吉林省文化交流事業 「宮城県茶道文化交流茶会」	7月11日	中国・吉林省		吉林省300	
吉林省交流の旅	7月10日～7月14日			当県48	

4. 定款第 4 条第 4 号の事業（芸術文化の水準向上のための研修等の実施）

絵画部スケッチ研修会	5月17日～5月18日	「大自然のふとところ五月の裏替梯」～春を全身で感じながら極上スポットを心ゆくまで描く		参加 32	
講演会「美術が愛された時代」 ～松方コレクションをめぐる日仏交渉30～90	5月31日（総会）	東京エレクトロンホール宮城会議室		参加 146	
工芸・茶道部研修会 講演「仙台発ガラスの話」	6月22日	仙台市戦災復興記念館		参加 35	
第 36 回 研 修 旅 行	11月22日～11月28日	“奇岩・秀峰の桂林と漓江下り”		参加 23	
書道部研修会	10月13日	東京エレクトロンホール宮城会議室		140	「淡墨の作り方、使い方」

5. 定款第 4 条第 5 号の事業（機関紙、研究資料及びその他出版物の刊行）

機関紙「はなやま」発行	4月20日	176号			
	6月25日	177号			
	10月20日	178号			
	1月20日	179号			
「会員名簿」発行	6月30日				

6. その他

第45回宮城県芸術祭開場式	9月26日	せんだいメディアテーク 5 F		参加 62	
第45回宮城県芸術祭閉会式	11月21日	ホテル仙台プラザ		参加 250	

平成 21 年度 事業計画

1. 定款第 4 条第 1 号の事業 (宮城県芸術祭の開催)

事業名	期 日	会 場	摘 要
書 道 展	9月25日～9月30日	せんだいメディアテーク 5・6 F	
工 芸 展	9月25日～9月30日	せんだいメディアテーク 5 F	
芸術ふれあい広場Ⅲ	9月27日	せんだいメディアテーク 1 F	
文 学 散 歩	9月29日～9月30日	(長野県北部方面)	
絵 画 展	10月2日～10月14日	せんだいメディアテーク 5・6 F	
華 道 展	10月2日～10月7日	せんだいメディアテーク 5 F	
彫 刻 展 ～彫刻部会員とその仲間展2009	10月2日～10月7日	せんだいメディアテーク 5 F	
写 真 展	10月9日～10月14日	せんだいメディアテーク 5 F	
茶 会	10月11日・18日・25日	輪王寺	
音 楽 会	10月17日	仙台市青年文化センター	
長 唄 演 奏 会	10月18日	仙台市民会館小ホール	
「宮城県文芸年鑑」発行	10月中旬		
文 芸 祭	10月31日	東京エレクトロンホール宮城会議室	
絵画・書道展大河原展	10月22日～10月25日	えずこホール (仙南芸術文化センター)	
絵画・書道展登米展	11月10日～11月13日	登米市登米総合体育館	
工 芸 展 栗 原 展	11月7日～11月10日	栗原文化会館	
写 真 展 雄 勝 展	11月12日～11月20日	石巻市雄勝伝産産業会館	

2. 定款第 4 条第 2 号の事業 (芸術文化に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援)

第 14 回 社 の 都 大 茶 会	5月30日・31日	勾当台公園	
県 民 と の 美 術 交 流	人物クローキ-10月10日	仙台市戦災復興記念館	
	ギャラリートーク10月10日 「絵画楽園」～子どものための「大人の絵画」鑑賞 10月10日	せんだいメディアテーク 5・6 F せんだいメディアテーク 5・6 F	
第 16 回 石 巻 芸 術 文 化 祭 みやぎミュージックフェスタ in 石巻	10月25日	石巻市民会館	
宮 城 の 気 鋭 展	1月10日～1月19日	LB ギャラリー	
4 5 周 年 記 念 展	1月19日～2月28日	カメイ記念展示館	
第 30 回 音 楽 コ ン ク ー ル (ピアノ部門)	予選 (未定) 本選 (未定)		

3. 定款第 4 条第 3 号の事業 (国内及び国外との芸術文化の交流)

東北・北海道交流書道展	6月3日～6月7日	東京エレクトロンホール宮城展示室	
日・韓国際交流 「仙台・大邱交流音楽会」 及び交流会	6月21日 6月20日～6月23日	仙台市青年文化センター	
宮城県・吉林省文化交流会 「吉林省京劇院宮城公演」	10月7日	ホテルコムズ仙台	

4. 定款第 4 条第 4 号の事業 (芸術文化の水準向上のための研修等の実施)

絵 画 部 ス ケ ッ チ 研 修 会	5月16日～5月17日	(象潟・鳥海山方面)	
講演会 「東北の人～茂吉と啄木」	5月24日 (総会)	仙台市福祉プラザ	
工 芸 ・ 茶 道 部 研 修 会	6月27日～6月28日	(弘前・青森方面)	
第 37 回 研 修 旅 行	7月5日～7月11日	“世界遺産・武陵源と馬王堆漢墓など”	
書道部研修会 (演題 未定)	9月26日	東京エレクトロンホール宮城会議室	

5. 定款第 4 条第 5 号の事業 (機関紙、研究資料及びその他出版物の刊行)

機関紙「はなやま」発行	年 4 回		
-------------	-------	--	--

6. その他

第 46 回 宮 城 県 芸 術 祭 開 場 式	9月25日	せんだいメディアテーク 5 F	
第 46 回 宮 城 県 芸 術 祭 閉 会 式	11月24日	ホテル仙台プラザ	

平成 20 年度収支計算書総括表

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

科 目	合 計	一 般 会 計	芸 術 祭 会 計	内 部 取 引 消 去
I. 収入の部				
1 基本財産運用収入	40,109	40,109	0	
2 入会金収入	1,680,000	1,680,000	0	
3 会費収入	24,230,000	24,230,000	0	
4 事業収入	14,082,160	11,297,000	2,785,160	
5 負担金収入	13,990,300	0	17,685,948	△ 3,695,648
6 補助金収入	230,000	230,000	0	
7 寄付金収入	145,000	0	145,000	
8 委託事業収入	2,299,500	2,299,500	0	
9 特定預金取崩収入	0	14,239,600	0	△ 14,239,600
10 雑収入	285,287	105,287	180,000	
当期収入合計	56,982,356	54,121,496	20,796,108	△ 17,935,248
前期繰越収支差額	10,209,288	10,209,288	0	
収入合計	67,191,644	64,330,784	20,796,108	△ 17,935,248
II. 支出の部				
1 事業費	31,841,141	18,576,785	16,960,004	△ 3,695,648
2 管理費	17,741,640	28,145,136	3,836,104	△ 14,239,600
3 特定預金支出	0	0	0	
4 委託事業支出	2,282,427	2,282,427	0	
5 予備費	0	0	0	
支出合計	51,865,208	49,004,348	20,796,108	△ 17,935,248
当期収支差額	5,117,148	5,117,148	0	
次期繰越収支差額	15,326,436	15,326,436	0	

平成 21 年度収支予算書総括表

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

科 目	合 計	一 般 会 計	芸 術 祭 会 計	内 部 取 引 消 去
I. 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
事業活動収入計	53,668,600	35,196,600	25,495,000	△ 7,023,000
2 事業活動支出				
事業活動支出計	52,262,600	33,790,600	25,495,000	△ 7,023,000
事業活動収支差額	1,406,000	1,406,000	0	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2 投資活動支出				
投資活動支出計	58,000	58,000	0	
投資活動収支差額	△ 58,000	△ 58,000	0	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
投資活動収支計	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	16,674,436	16,674,436	0	
当期収支差額	△ 15,326,436	△ 15,326,436	0	
前期繰越収支差額	15,326,436	15,326,436	0	
次期繰越収支差額	0	0	0	

※今年度より公益法人制度改定により、利目の名称等が変更されております。

北信濃路の文学紀行

9月29日
30日実施

〈行程〉

本年度の文学散歩は長野県北部方面を訪ねる「北信濃路の文学紀行」と決定した。

今年には芸術協会四十五周年記念行事の一環として一泊二日の旅である。

信濃方面には心ひかれる多くの文学館や美術館、記念館がある。今回は時間的な制約があり北信濃を中心に旅程を組んだ。

仙台駅―(東北自動車道)

軽井沢高原文庫―小諸・懐古園・島崎藤村記念館―戸倉上山田温泉(泊)

二日目

上山田温泉―千曲川万葉公園―無言館―茶館―上信越自動車道―北陸自動車道―東北自動車道―仙台駅

バス旅行ならではのコースであり、多数の会員と一般市民の参加を期待している。

「言葉のクロッキー」

文芸祭は10月31日開催

文芸部主催の文芸祭は平成二十一年十月三十一日(土)東京エレクトロンホール宮城六〇一大会議室で午後一時三十分から開催されます。第

一部は文芸賞受賞者の作品発表。第二部は「言葉のクロッキー」の標題の示すように、提示された「言葉」を限定された時間内で絵画のクロッキーのように言葉を綴っていく新企画。

好評を博している芸協文芸部会員の出版物を展示する予定です。同人誌や結社誌、歌集、句集、詩集などです。出展希望者は午前十時まで会場へご持参ください。ただし展示物の保管管理一切は自己責任としますのでご協力ください。



杜の都大茶会の会場

悪天候でも出足好調 「第14回 杜の都大茶会」

第十四回となった杜の都大茶会は五月三十、三十一の両日、仙台市青葉区の勾当台公園で開催された。初日は時おり強い雨、二日目は曇り時々雨とあいにくの天候だったが緑濃い会場を訪れた人は前年とほぼ同じ約八千人。十三流派の茶席はにぎわった。

初日は表千家、江戸千家、煎茶道三彩流、玉川遠州流、煎茶文雅静庵流、武者小路千家の六流派の席で、悪天候もあり前年より若干客足は鈍ったものの、二日目の裏千家、石州清水流、宗徧流、織田流

芸協から

17人出展

東北・北海道交流書道展

前茶道、大日本茶道学会、煎茶道流泉幽茗流、遠州流茶道の七流派の席で前日をしのご出足だった。この催しは年ごと盛会となっている。

県内の出展者は昨年の第四十五回芸術祭受賞者十七名の作品。他は北海道はじめ東北五県から各県七名で合計五十九名が展示された。六月四日には三階会議室で総会が行われた。

会員の入賞・入選など

- ◇第64回春の院展入選 (日本画) 小野恬、三浦長悦、宮澤早苗
- ◇第44回日春展 (日本画) 入選 安住小百合、佐藤朱希
- ◇第59回モダンアート展 会員推挙 安達吉男
- ◇第73回河北美術展 (日本画) 一力次郎賞 小野寺君代 東北放送賞 吉田輝 宮城県芸協賞 佐藤松子 (洋画) 文部科学大臣賞 阿部好江 一力次郎賞 松永弘 宮城県芸協賞 峰岡順 藤崎賞 菅原典子 山本壮一郎賞 数本奈智子 (彫刻) 一力次郎賞 相田ひろみ 宮城県芸協賞 小関俊夫
- ◇第28回日本刻字展 日本刻字展委員長賞 (書道部) 高橋芳琴
- ◇「器のかたち、現代ガラス展」藤田喬平賞 (工芸部) (ガラス) 鍋田尚男

二〇〇三年八月一日、上野駅前で大形バイクに跳ね飛ばされる事故によって左手を中心に左半身が麻痺する障害が残り、神経線維の断裂（び慢性軸索損傷）と診断されました。三日間の意識不明後、六日目に病室のベッドを囲む母や兄達の名前を一言ずつ声にし、認識しました。そして自分の体が動かなくても、指だけは別だと思いこみ、仕事のスケジュールや予定された演奏会の心配をしていたので

一カ月後、仙台に転院し病院にある鍵盤を触って、初めて大変なことになったと自覚しました。退院後は絶望感よりも動かない手にイライラし、いずれ日常生活の回復と共にピアノが弾けるようになるだろうと大きな勘違いをしていたのです。

一年半の月日が経ち、イライラは少しずつ失望感に変わり始めていました。死ぬまでの間に一回だけでいい、四回目のベートーヴェンテクルスをやりたい。徐々に叶わぬ夢として刻まれつつありました。日常生活ができて、ピ

アノを弾く体ではなかったのです。事故によって滑車神経麻痺になっていたため、音符が葡萄の房のように見え、頭痛や嘔吐が度々おそってきま

交通事故と私

した。体のバランスがとれないために長時間椅子に座ることが苦しく、二十分弾いては二十分横になりながらの練習。言葉はしどろもどろで唇もすぐに動かすことができない状態でした。歩行も左肩下がりの傾き状態。左手にセカンドバッグを持ったまま、動かさずかばうように歩いていました。

ちょうどその頃、身近な方達から第二の人生を考えることを強く勧められ、私は素直にそれを受け止めました。私自身、キーボードを指一本ずつでしか押せなかつた状況にもかかわらず真面目な結婚を考え、かつ音楽に関わりのない女性との出会いを希望し、インターネットに登録しまし

た。登録からすぐに運命の女性（妻）と出逢ったのです。事故も人生のストーリーに入っていたかのように、体だけではなく、心も完全に新し

向き合い始めました。ぐらつく指先で目にレンズが入るまで最初は四時間かかって、私が眼鏡からコンタクトレンズにすることで視界が開かれれば未来も開かれると信じました。落ちてしまった筋力を戻すためのストレッチ、握力を取り戻す試み、

福原 佳三 (音楽部洋楽)



アが出てきました。もともと体が硬い上に猫背で、背広もオーダーでなければ着れない上半身だった私は、事故によってますます体が固まっていた。そんな体では呼吸が浅すぎるのと彼女が指摘し、毎日すべて

しかしそれでも復帰を焦る私がイライラし始めると、すべての私に対する行動を彼女は止めました。私はその度に自分の心の中にあるものを見つめ、大切なことが何かを自分自身で何度も問い、内面から変わらなければ進んでいけないことを何度も突きつけられたのです。「お前も事故に遭えばわかる！」そんな言葉を彼女に吐いたことさえあります。しかし感情的になったその言葉があまりにも早口だったため、彼女はその言葉の切れに驚き、速く言えるようになった私を喜んでいました。

事故に遭うまで予想できる範囲の中で生きていた私は、事故によって予期せぬ思いや体、環境を突きつけられながらも、たくさんの方達との新たな出会いがあり、助けられていく中で今の自分を受け入れました。表現できるようになりました。仕事として捉えていた音楽ではなく、純粋に芸術を究めていける準備が今、整いつつあることを大変嬉しく、幸せに感じています。

「新生」心珠なる音の調べ」会場

5月22日、イズミテイ21小ホール

く生まれ変わらなければ道が開かれない、と彼女は私に言う。とでまっすぐに立てるように続け、一つ一つの問題点になり、身長も伸びたのです。

事務局 日誌

会務報告

5・1 監事会

○平成20年度業務内容及び一般会計、宮城県芸術祭会計監査

5・8 理事会

○平成20年度事業報告について
○平成20年度収支決算について
○新入会員の承認について
○会員の除名について

○感謝状の贈呈について

5・15 宮城県芸術祭委員会

○第45回宮城県芸術祭結果報告

○第46回宮城県芸術祭について

5・24 平成21年度総会

○平成20年度事業報告及び収支決算について

○平成21年度事業計画案及び収支予算案について

後援

☆けやき・並木路展09

5月8日～5月13日

せんだいメディアアテック

☆第64回春の院展仙台展

5月13日～5月22日

三越仙台店7階ホール

☆第14回翠葉会書作展

5月19日～5月24日

東北電力グリーンプラザ

☆第39回宮城書芸院書展

5月20日～5月24日

大崎市民ギャラリー 緒絶の館

☆第32回白亜会東北支部展

5月29日～6月3日

せんだいメディアアテック

☆生田流箏曲演奏会

5月30日

電力ホール

☆第36回仙台女流美術協会展

6月11日～6月17日

せんだいメディアアテック

☆「日本画を楽しむ」作品展

6月12日～6月17日

化センター天笠教室

☆オペラリナター・イタリア企画

第5弾「三野宮まさみソプラノリサイタル」

6月25日

仙台市戦災復興記念館

☆第48回新洋会展

6月27日～7月1日

せんだいメディアアテック

☆二科会写真部宮城支部

6月27日～7月1日

せんだいメディアアテック

☆小林郁ピアノリサイタル「ショパンと現代作品の魅力」

7月3日

イズミティ21

☆第40回蔵王写生会展

7月3日～7月8日

せんだいメディアアテック

☆菅井糸子日本画・巻物とその仲間たち展「くさぐさに魅せられ

て」

7月3日～7月8日

せんだいメディアアテック

☆第44回チャールズ会仙台展

7月10日～7月15日

せんだいメディアアテック

☆第27回日本新工芸東北会展

7月17日～7月22日

☆佐美和会三曲演奏会

8月7日～8月12日

藤崎本館7階催事場

☆せんだいメディアアテック

7月16日～7月19日

宮城県美術館

☆第20回記念宮城示現会展仙台展

7月17日～7月21日

東京エレクトロンホール宮城

展示室

☆第28回板橋健独唱会

7月24日

仙台市戦災復興記念館

☆第39回宮城書芸院書展教育部展

7月24日～7月26日

大崎市民ギャラリー 緒絶の館

☆玄穹社選抜展併催第2回玄穹社学生展

7月31日～8月3日

せんだいメディアアテック

☆佐藤利次傘寿表装展+装潢の美+

8月1日～9月30日

瑞巖寺青龍殿

☆第56回河北書道展

8月7日～8月12日

藤崎本館7階催事場

☆第32回仙台の四季を描く絵画展

8月7日～8月12日

せんだいメディアアテック

☆音サプリ Lotus 6 th Live

8月9日 えずこホール

11月22日 まほろばホール

3月5日 イズミティ21

☆第45回宮城水彩展

8月21日～8月26日

せんだいメディアアテック

☆シネマ歌舞伎「人情断文七元結」

8月21日～8月27日

仙台市民会館他6会場

8月29日

仙台市福祉プラザふれあい

ホール

☆2009仙台オペラ協会第34回公演

9月5日・6日

東京エレクトロンホール宮城

「魔笛」

受贈書

歌集「蠅の火」(岡本勝)、「菅野哲子全歌集」(菅野哲子)

退会会員

【絵画部】(日本画)菅原市子(洋画)小池隆子、今野澄、齋藤岳志(定款第10条)による退会 【工芸部】(陶芸)大原功樹、(木竹芸)栗原良雄【書道部】藤坂良子、丹野賢

佐々木光子、熊谷文子【文芸部】(短歌)高城悦子、佐藤利吉、秦松男【写真部】阿部由治(定款第10条)による退会 【賛助】愛知純子

謹 弔

茶道部 (石州清水流)

鈴木久美斎殿

文芸部 (短歌)

4月3日

中川清彌殿

絵画部 (洋画)

4月4日

松倉國夫殿

華道部 (清泉古流)

4月4日

小幡一遊殿

もしも新聞がなかったら、もしもラジオ、テレビがなかったら日々の暮らしはどうだったろう? 空気のように意識はしなくても、情報の伝達や記録の中核であるマスクミの存在は想像も及ばないほど偉大であり、重要である。これらのメディアは活字や電波で成り立っているが、近年とみに力をもってきたのはパソコンによる情報の伝達。ネットオークションなど得るところ大きいようだ。携帯電話の機能も多方向に及んでいるようだ。▼バスや電車の車内でのメール発信など生活の一部となつて、孤立化から危うく免れているかに見える。個人情報漏洩などとも簡単なのなのだ。これらと無縁であっても見えない被害に遭っているかもしれない。▼ひるがえつて本紙「はなやま」のような宮城県芸術協会という組織の機関紙の役割は情報の伝達と活動の記録となるだろうか。だがその中から啓発や指針を読み取ることはできないか。そんな紙面を目指したい。(純)

けやきの譜